



AIG 損害保険株式会社

業 種 / 金融業・保険業
 主な事業内容 / 損害保険業
 従業員数 / 6,425人

備 蓄

各フロアでの備蓄

コロナ対策や働き方改革の一環でリモートワークを実施できる環境を整備した。これにより文書のデジタル化が進み、フロアに余裕ができたため、この空きスペースを活用して、従来は地下1階に備蓄していた災害用品を各フロアに保管し、災害時の運搬業務を軽減させて、迅速に配布出来るようにしている。

また、災害時に始終必要になるランタンと懐中電灯は、オフィス内の利用しやすい場所に分散設置している。



3日分の水・エナジーバー、携帯トイレが入った個人用エマージェンシーバック

「災害前と災害後」両面からのお客さま支援がミッション

損害保険会社として、災害前と災害後の両面からお客さまを支援することを社会的使命と考え、「ACTIVE CARE」という事業戦略コンセプトのもと、災害後に保険金をいち早くお支払いし、お客さまの早期復旧を支援するだけでなく、災害前にも事故を未然に防ぐためのリスクマネジメントサービス(事故防止のためのコンサルティング等)を提供している。



事業継続に関する様々な認証・資格を取得したメンバー

訓 練

サプライチェーン全体での災害対策訓練

日本国内のグループ会社全体で実施するCIMT(カントリー・インシデント・マネジメント・チーム)訓練、BCP(事業継続計画)訓練、EMC(エマージェンシー・コールシステム)訓練を実施している。

CIMT訓練では、従業員の安全に影響を及ぼし、事業活動を中断させる可能性のある事象が発生したというシナリオのもと災害対策本部を設置し、災害時の迅速かつ適切な意思決定の実現に向けて訓練をしている。

また、BCP訓練の際は、自社のみならず取引先企業にも協力をいただき、サプライチェーン全体での災害対策

に取り組んでいる。障がいのある社員の避難サポート訓練も実施し、社員の多様性にも配慮している。

国内のグループ会社全体で実施するCIMT訓練



車いすユーザー社員への対応(障がい者避難サポート)

周 知

多様性&グローバルスタンダードを意識した様々な周知

●多様性に配慮したマニュアルの作成

多様性をキーワードに、マニュアルや掲示物は日本語と英語で表記している。

また、様々な障がいを持つ方へ対応するため、マニュアルは「災害時視覚障がい者サポートマニュアル」「災害時聴覚障がい者サポートマニュアル」「災害時肢体障がい者サポートマニュアル」を用意し、目・耳・足の不自由な方を十分にサポートできるようにしている。

●災害時トイレマニュアルの作成

社員の3日間の滞在に備えて、トイレの使い方を詳細にマニュアル化して社員に提供している。各フロアには男女のトイレリーダーを配置し、トイレマニュアルに基づき、トイレを衛生的に使用できる体制を整えている。

●グローバルスタンダードと日本の独自性



災害時トイレマニュアルから「トイレ内へのランタン設置」

ISO22301(早期の復旧と再開を実現するための事業継続マネジメントシステムの国際規格)の認証を会社が提供するすべてのサービスで取得し、全世界で共通するグローバルスタンダードの災害対策を推進している。

一方、日本では地震や台風などの自然災害が多いことから、他国とは異なる地域の独自性を加えて、日本独自の自然災害対応ガイドライン(地震・台風・大雨等の発生時における対応のガイドライン)を策定し、自然災害発生時の社員の行動指針として活用している。



各フロアの備蓄庫



取り出しやすい位置に設置しているランタンと懐中電灯



左から、災害時トイレマニュアル
 災害時聴覚障がい者サポートマニュアル
 災害時視覚障がい者サポートマニュアル
 災害時肢体障がい者サポートマニュアル

